

## Errata

下記論文に誤りがありましたので、ここにエラータを掲載いたします。関係各位にご迷惑をおかけしましたことを深くお詫びいたします。

西野武志, 他 2 名: 新規エステル型経口用 cephem, S-1108 の *in vitro* および *in vivo* 抗菌作用について。Chemotherapy Vol. 41 (S-1): 50~75, 1993

ページ	行	誤	正
50	要旨の 25 行目 ↓	CFTM-PI と同程度	CFTM-PI および BMY-28100 と同程度
66	右段上から 14 行目	3.62 mg/mouse	0.317 mg/mouse
66	右段上から 16 行目	CFTM-PI で	CFTM-PI および BMY-28100 で
66	右段上から 16~17 行目	CCL, BMY-28100 に比べ	CCL に比べ
67	Table 15 に記載されている BMY-28100 の ED <sub>50</sub> 値	3.63 mg/mouse	0.317 mg/mouse
67	Table 15 に記載されている BMY-28100 の 95% confidence limits	(0.0241~3.85)	(not calculated)
75	右段上から 4 行目	CFTM-PI と同程度	CFTM-PI および BMY-28100 と同程度

三和秀明, 他 3 名: 新規エステル型経口セフェム剤, S-1108 の *in vivo* 抗菌作用。Chemotherapy Vol. 41 (S-1): 94~101, 1993

ページ	行	誤	正
94	要旨の 16 行目 ↓	AMPC > CCL	AMPC ≥ CCL
95	左段上から 24~26 行目	薬剤非投与群の平均膿瘍面積を基にして薬剤投与群の膿瘍形成阻止率を求め、各投与群の阻止率	薬剤投与群の膿瘍面積が薬剤非投与群の平均膿瘍面積の 50%未滿の場合を有効とし、各投与群の有効率
98	左段上から 10 行目	この膿瘍形成阻止率より求めた	削除
98	左段上から 11 行目	5.99 mg/kg	2.27 mg/kg
98	左段上から 13 行目	10 倍および 17 倍	25 倍および 44 倍
99	Fig. 1 に記載されている S-1108 の ED <sub>50</sub> 値	5.99	2.27
99	Fig. 1 に記載されている S-1108 の 95% confidence limits	1.50~13.7	0.78~4.02
99	Fig. 1 に記載されている CFTM-PI の ED <sub>50</sub> 値	39.7	16.6
99	Fig. 1 に記載されている CFTM-PI の 95% confidence limits	14.1~303	—
99	Fig. 1 に記載されている CCL の ED <sub>50</sub> 値	62.8	56.9
99	Fig. 1 に記載されている CCL の 95% confidence limits	—	24.9~611
100	左段上から 1 行目	12 倍	6 倍
100	右段下から 8 行目	7~10 倍	7~25 倍

---

100	Fig. 3に記載されている CCLのED <sub>50</sub> 値	15.0	7.66
100	Fig. 3に記載されている CCLの95% confidence limits	8.17~42.9	3.71~15.3